

平成11年度少年水産教室の開催（今帰仁村立兼次小学校）

金城 武 光

平成11年度少年水産教室は、今帰仁村教育委員会、今帰仁漁協からの強い要望により、小学生を対象に「固定式底刺網の体験学習」をテーマに今帰仁漁協、今帰仁村教育委員会、今帰仁村、普及所の4者でうち合わせを行った。

漁協婦人部、村青少協も協力するということで話を進めた。対象の村立兼次小学校との調整は教育委員会、マスコミ手配、進行、総括を普及所で行った。

成 果

平成11年8月10日午前7時20分今帰仁漁協へ集合、開級式で金城普及所長の挨拶に続き上間組合長から乗船についての説明、網揚時の注意事項等を受けた。

生徒39名、学校（引率）5名、父母4名、普及所4名、マスコミ3名の合計55名が4隻の漁船に分乗し波静かな漁場へ向かった。

網は漁港から2～5km沖合に前夜それぞれの船長が敷設した2枚刺網20枚である。

現場到着と同時に船長からの指導、助言で揚網が始まった。船酔いをする生徒もいなく、魚が揚がるたびに拍手と「やったー」の歓声があがった。

全員が交代で網揚げをし作業は順調に行われ、約40分で終了全員拍手でお互いの労をねぎらい帰途についた。

他の3隻も次々と帰港し、1人の怪我人もなく、全船大漁で港はにぎやかになった。

引き続き青年部の指導で網に絡まった魚をはずし、計量した結果亮丸70kg、第二みさき丸27kg、つかさ丸23kg、望丸21kgで、魚種はツユベ

ラ、ヒメジ、エビスダイ、ハマフエフキ、ブダイ、アイゴ、クモ貝、スイジ貝等合計141kgで大漁であった。

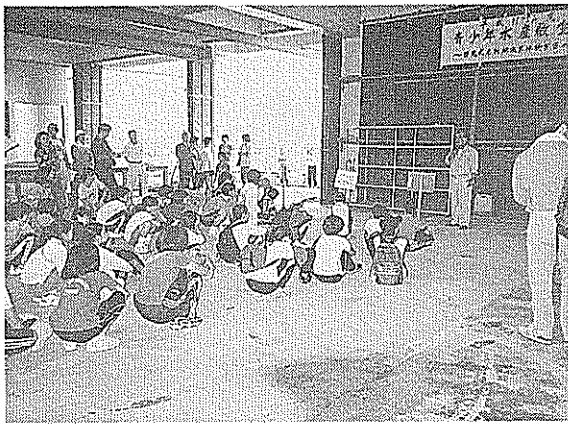
次に全員で魚の鱗落とし、下ごしらえした後婦人部によって調理された。

料理ができるまでの間、上間組合長による講話「今帰仁村の漁業について」があり実際に漁具を用いて説明がなされた。

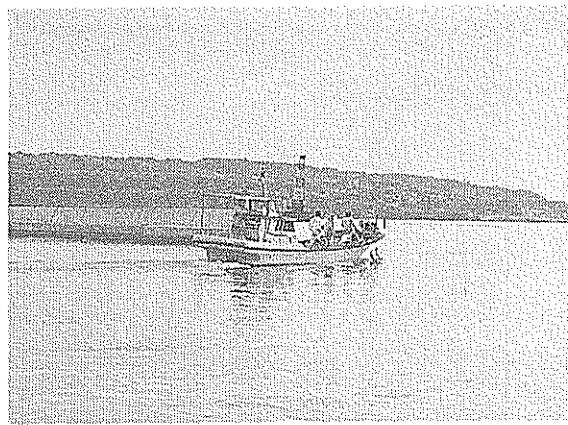
生徒からの質問では一日の漁獲量、漁場の選定方法、漁協の仕事、200海里問題、捕れた魚の流通、漁獲される魚の種類、後継者問題等多くの質問が出された。

学校から上間久武校長、崎浜教諭からお礼の挨拶があり、瀬底専技の終級宣言後待ちに待った昼食、おにぎり、シイラの塩焼き、刺身、魚汁に舌鼓を打った。

12時30分成功裡に終了した。



今帰仁漁協での開級式（金城所長の挨拶）



波静かな漁場へ向け出港



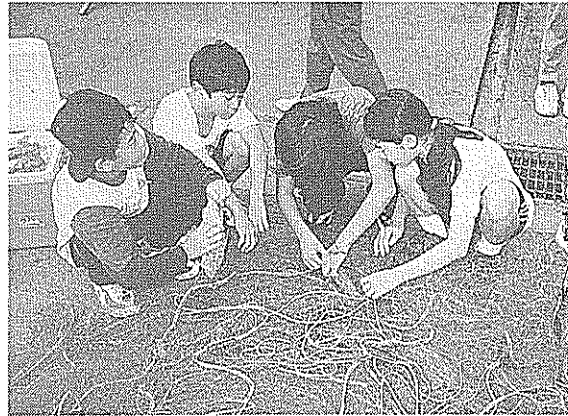
船長の指導で揚網の体験



模範演技（ワンカイ マカチョーケー）



揚網終了、大漁に満足



網にかかった魚をはずす



上間組合長による講話「今帰仁村の漁業について」



待ちに待った昼食



夏休み

「魚がいっぱいかっ
ているよ」「いい」「
六年生約四十人は刺し網

力を合わせて引き揚げた。漁に挑戦した。網にはたくさん魚が。揺れる船上での慣れない思わず歓声を上げる子どもたち。今船に村古宇利つかめなかつた子どもたち。「掛け声でリズムを合わせる」と力が出る

少年水産教室

元気な「海の子」

島近くの海で行われた。漁師さんのアドバイスで「少年水産教室」での。今船の「掛け声の下、網を方

六次々と釣られてくる魚。船酔いもせずに引揚げた大人たちをしのぎ、子どもたちは嬉しそうに「掛け声でリズムを合わせる」と力が出る。漁師さんや先生の前で「おめでとう」といって、みんなの表情は笑顔でいっぱい。刺し網の経験は、子どもたちにとって、とても貴重な経験になる。漁師さんや先生の前で「おめでとう」といって、みんなの表情は笑顔でいっぱい。刺し網の経験は、子どもたちにとって、とても貴重な経験になる。

兼次小児童 刺し網漁体験

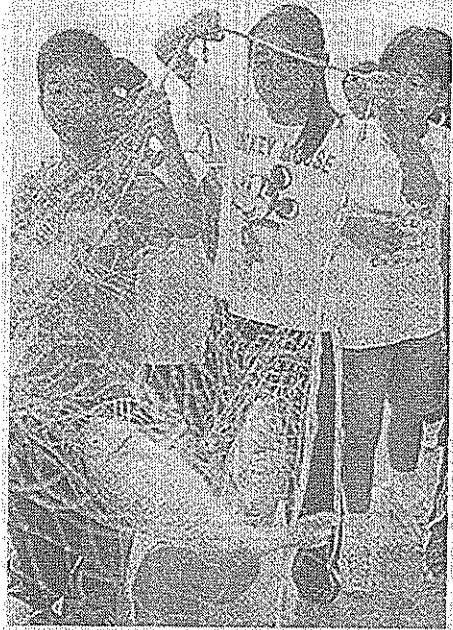
古宇利島海域

魚の調理にも挑戦

鮮やかにさばく子ども

【今船仁】兼次小学校（今船仁）の五、六年生三十七人は十日、古宇利島周辺海域で固定式刺し網漁を体験学習した。子供たちは今船仁漁業協同組合（上間義昭組合長）の船四隻に乗り込み、慣れない手つきで網を引き揚げた。

眼黒林水産部水産事業改良普及所（金坂宏所長）が行う「少年水産教室」今年度は、金坂所長が「海は怖い所、船長の言うことに移動した。小、中学生対象に開かれてをよく聞いてください」と、刺し網を巻き上げ、掛か



刺し網に掛かった魚を捕る兼次小の子供たち
＝今船仁船中

った魚が次々と海面に姿を見せるとわくわくしている。つばい捕れてる」と歓声が上がった。船長が「君たちが網を引き揚げないと、魚捕れないよ」と注意する。こわごわとした動作で手振っていた。捕れた魚は「カマキリ、カンパチ、ガサガサ、中にはワニホやコバンサメを捕った船もあった。海では子供たちが捕った魚の調理に挑戦。うろこ取りやおろし方などを先生や父母に教えていた。鮮やかに魚をさばいていく子どもも、漁師から「ワニホ、チュににならないか」とスカウトされていた。五年の仲業船長さんはいろんな魚がいて、きれいだ。玉城突撃さん（五年）は「網に掛かっている魚を捕るのが難しい」と、初めての体験を話し、目を輝かせて話していた。